

目次:

事務局よりお知らせ  
竹内 遼さん寄稿  
奈佐有子さん寄稿  
中村まり子さん寄稿  
青井睦さん寄稿  
芥川雅之さん寄稿  
児嶋きよみさん寄稿  
ハバネロメルマガ会員募集  
会員様の宣伝コーナー開設  
ハバネロ質問コーナー開設



中村まり子さまから送っていただきました  
干支とハバネロの飾りです。

## 事務局からのお知らせ

### 新年明けましておめでとうございます。 今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

また新しい一年が巡って来ました。今年は何だけの収穫ができるのでしょうか。ここ近年、季節の温度も変化してきて、災害や、天候不順による影響が大きく、農作物の収穫の予測がより一層難しくなってきました。その上、獣害も年々ひどく、自然の環境は生き物達の生存競争も別の意味で厳しくなっているようです。

その中でもハバネロのような作物はまだ比較的こういった被害の影響の少ない作物の一つだといえます。今取り組むべき対策の中でできる事として、限界集落とされた場所で、現役として従事されている農家の方々の収入をどうするかの取り組みの一つでもあります。

今年も沢山の生産者様たちと一緒に美味しいハバネロを作って参りたいと願っております。

どうか皆様の暖かいご支援をこれからもよろしくお願いいたします。



## バングラディッシュからの頼り

バングラデシュで、5年ぶりの総選挙が行われました。昨年はデモやストライキが頻発しており、特にこの3ヶ月はほぼ毎日バングラデシュ全土の道路が封鎖され、移動は徒歩かリキシャに限られ物流は麻痺していました。

経済にも大打撃となり経済成長率を大幅に下方修正しています。

やっと選挙が終わり、街に平穏が訪れると思われていましたが、選挙翌日から無期限のストライキが始まりました。

選挙当日、野党支持者が各地で投票所や車両に放火するなどの妨害を行い、選挙をボイコットし、選挙のやり直しを求めています。

治安が悪化する中、米国や欧州は選挙監視団の派遣を見送りました。選挙のやり直しか、それともクーデターが起き軍事政権となるか、どちらにしろ混乱はまだまだ続きそうです。

こんな状況だからこそ写真は子供の笑顔で。



RYO TAKEUCHI



とってもステキな子供達の笑顔でホッとさせられますね！



## 奈佐有子さんのメキシコのお話

あけましておめでとうございます。本年もつらつら書きつらねるメキシココラムですが宜しくお願い致します！



さてさて今年始めはどんな原稿にしようかな～と考えてましたが・・・皆様にも金運がひらけますよう“お金”！笑

ご存知かも知れませんがメキシコのお金の単位はメキシコペソ、南米ではアルゼンチンをはじめチリ、ウルグアイ、コロンビアなどでもお金の単位はペソが使われています。

現在1メキシコペソは日本円にして約8.5円。だんだんと円安になってきました。

1ペソの下にはセンターボと呼ばれる（日本では銭かな？）も小さな単位もあります。

硬貨は10¢, 20¢, 50¢, \$1, \$2, \$5, \$10, \$20 紙幣は\$20, \$50, \$100, \$200, \$500, \$1000 しかし小さな通貨センターボでは支払う習慣がほとんどないのでチップ用とかおまけとかそんな感じで使われています。

あと、個人のお店で1000ペソとか500ペソとか大きなお金で払うとお釣りが無

かったりすりるので嫌がられます・・・汗 わざわざ小さいお金にするためにガムとか買って支払い・・・日本では1万円で支払って嫌がられるってないですよ普通は。

お札の絵柄は表が歴史上の有名人物、主にメキシコ独立や建国に役立った偉人が描かれ裏にはメキシコの文化遺産が書かれています。硬貨の裏にはメキシコの国旗にも登場する蛇をくわえた鷲がサボテンの上にとまる図が描かれています。これは蛇をくわえた鷲が泊まる場所に国家が誕生するといった先住民の古い伝説です。お金にも先住民の言い伝えが登場するあたりがメキシコ独自の文化を大切にしているナショナリズムを表わしている気がします。あと、お札の色がカラフルなのと硬貨のゴールドがかわいいので好きです～



みなさんは小銭でおつりをもらった時確かめてます？

メキシコでは必ず確かめてくださいね。

たびたび意図的にか無意識にかお釣りが間違っ渡されますから！！

MUTTSUNN 通信

明けましておめでとうございます。

2014 年もよろしくお願いいいたします。



世界遺産に登録されて名実とも日本の顔となった富士山。富嶽三十六景の大ファンで、念願かなってようやく拝むことができました。その圧倒的な美しさと存在感に衝撃を受けたわけですが、もう一つ外せない旅の醍醐味は名物を食すこと。ということで、「吉田うどん」なるものを目指し出発。バスが通らない大通りにくじけそうになりながらたどり着いたのは甘～いお出しが効いた硬い麺のうどん。旅をめるおいしい思い出となりました。

mutsumi





## とんがらし芥川さん寄稿

新年あけましておめでとうございます。

今年のお正月は過ごしやすい天候でした。

しかし、12月初旬のころには今年はや暖冬かと思っていましたが、12月中旬以降の奈良は晴れる日が少なく12月20日過ぎに露地のとうがらしたちは一斉に枯れてしまいました。

施設内のとうがらしも昨年は2月中旬まで収穫出来ていたのですが、今年は少し早めに役目を終えてしまいそうになってきました。

昨年を振り返ると定植後はグズグズの天候、成長期は記録的猛暑、暖かい秋と初冬、年末はまた寒いグズグズと極端な天候の変化の連続の難しい一年でした。自然の力には敵いませんが頑張ってくれました。

施設内の激辛品種の収穫と一味の加工は最盛期を迎えています。そして、2014年度の新しい命を生み出す播種作業の準備などでバタバタと過ごしています。

今回は、4大品種の一つであるシネンセ種のふる里であって、素晴らしい唐辛子文化が根付いている陽気なサンバの国・ブラジルの品種をご紹介します。

ご見学も大歓迎です！！：とんがらし芥川 TEL0744-47-0744

とんがらし芥川 FACEBOOK でも様々な品種をご紹介します。『いいね!』をお願いします。

### 現在の圃場の様子



当園の看板商品であるジョロキアの選抜3年生の樹のジャンボ果実。

当園育成激辛のモルガの変異品種大きくて最高のフォルム。3世代目。

施設内の激辛とうがらしたちはどうか頑張ってくれています。

### ブラジルの素晴らしい品種



CGN21500



Brazilian Starfish

1月号



CGN21566



Coyote zan white



CGN23769



Brasileira Marimondo



Cheiro White



Pimenta da Neyde



CGN23251





CGN22835R



CGN22837



CGN16941



Cumari o Passarinho



CGN23257

## 児嶋きよみさん寄稿

期日: 2013年11月30日(土)10:30 12:00

場所: ガレリア3階 会議室

ゲストスピーカー: 竹内 博士さん

(アプローズ エンターテイメント Manager)

Coordinator: 佃 れい子さん

参加者: 10名



Title: Impression of My First Visiting Vietnam

当日、竹内博士さんは、英語版の元になった日本語で書いたエッセーも配布しました。それによると、「2013年4月、私は、妻と二人でベトナムを一ヶ月間旅しました。10年間務めた新聞記者をやめて、フリーに転身するあいだにできた時間で、これまでにやれなかったことをやろうと思い立ったのが動機でした。……」と続きます。

彼は、9月7日に開催した William Berry さんをゲストに迎え、佃れい子さんが Coordinator の GlobalSession に

## 1月号

参加していました。ベトナムから帰国後、英語を学びたいと思っていた竹内さんは、一念蜂起して、どうせなら、英語でゲストとして参加しようと考え、その時から、佃れい子さん(英会話講師)について、毎週、京都市内で、英語の語学学習を始めたのです。その成果が今日に実っているはずです。どうぞ、お楽しみください。

(ここから英語です)

佃:竹内さんからベトナムについていろいろ聞いて、ベトナムに行きたくなくなっていました。

竹内:一ヶ月のロングハネムーンに4月にベトナムに行きました。なぜ、そんなに長く行けたかという、亀岡市民新聞に10年働いていて、退職したので、

- 1.これから、何をするか、考えたい。
- 2.フリーランスのジャーナリストは第2の仕事として考えているが、どのようにこれからやっていこうか。
- 3.ベトナムは、物価が安いと聞いているし、食べ物がかうまいと聞いている。

東北大震災以後、原電事故があり、日本は何かを失ったと感じていました。それに比べて、ベトナムは、これからの国と思えるので、日本と比較してみたかったです。現在のホーチミン市(ベトナム社会主義共和国最大の経済都市。東南アジア有数の世界都市でもある)は元々サイゴンで、1976年にベトナム社会主義共和国が成立。

現在の、ホーチミン市は、モーターバイクの群れでものすごく騒々しい。

MF:スピードはどうですか?

竹内:ゆっくりです。

佃:事故がこわいね。

竹内:数もすごいけれど、その乗り方もすごいんです。一台に、パパ・ママ・2.3人の子どもが全員乗っているのです。

MS:ルールはないんですか?

竹内:あるけど、知らない顔をして乗っているんです。ボトルを山のように積んだり、卵や、ポットに植えてある大きな木とかも運んでいます。バイクで。

佃:倒れたら全員ね。バイクも中古車で、日本から輸入しているのですか?

TK:ヘルメットは被っているみたいですね。

竹内:街中では、Wifiでカバーされた近代化されたビルもたくさんあります。でも市場へ行って、トロピカルフルーツがいっぱいで、買うように強く勧められます。公園では子どもが靴磨きをしていました。ホーチミン市は、小パリと言われるほど美しい街ですが、まずしい人が多いように見えました。ベトナム戦争後も地雷の被害もあとを立たず、一本足で物乞いをしている人もいて、今も、戦争の被害と同居していると見えました。

ホーチミンのある南部からハノイのある北に向けて行きました。大体、日本の四分の一の値段です。タクシーに一日乗り回していても2000円くらいで、高級なレストランで満腹になるほど食べても2人で3000円でした。ヌードルも米粉でできたフォーがあり、おいしかったです。

MS:スパイスは、きついんですか?

竹内:いいえ、あっさり味です。春巻きもとてもおいしいし、フランスパンが日本のとちがい、外はクリスピーで内側はもちみたいで柔らかいのです。持って帰りたいほどでした。コミュニケーションは、簡単な英語とジェスチャーで過ごしました。

佃:ベトナムの人達は英語も話すのですか?

竹内:ビジネスでアメリカ人がたくさん来ています。それで、英語が共通語のようになってきているようです。

また、英語を小さい時から学校で習っているそうです。



## 1月号

KK: 亀岡にもベトナム人は住んでいるようですが、英語はあまり話せないようです。

SK: パンの外見は日本と比べてどうですか？

SF: バゲットパンは、中は硬いですね。

SK: やきとりをパンの中に入れますね。

竹内: バインミーというものです。

KK: バインは、combine？

竹内: トイレに入っていたら、ノックをする人があり、「入っています」というつもりで「Come in」と言ってしまったことがありました。「ここにいます」と言ったつもりだったのですが。

MF: ドアはロックしてあったのですか？

竹内: 「はい」

時々英語で聞かれることがあり、「ああ、英語が話したい」と思ったのです。

”Are you Chinese or Japanese?”と聞かれたり、日本の印象をたずねると、”Beautiful and

Clean country”とか、言われています。ベトナムはまだ、日本の昔の姿が残っているようで、孫を祖父母が育て、子どもは金を稼ぎに出ているようで、年を取った人にとっては尊敬されていて、良い国なんだなと思いました。

お見せしている写真は、フエ市で、ハロンベイは、世界遺産になっています。ランタン祭りもあり、中国からの影響があるようです。

MS: アオザイも中国からの影響で作られて来たようですね。

TK: アオザイはどうでした？

佃: どんな服を買ったのですか？

竹内: シルクの手作りのドレスです。

SK: どこがおすすめですか？

竹内: ホイヤン市ですね。

KK: 4、5月はとても暑いでしょう？

KT: 12月・1月が一番いいですね。

TK: ベトナムコーヒーとか、フランスの影響もあり、ワインもいいですね。仕事で行ったことがあります。

佃: 一ヶ月滞在して、人々のアメリカに対する気持ちはどうでしたか？

竹内: 20 数年前まではアメリカとのゲリラ戦をしていたわけですからもっと、きれいという感情が強いかと思いましたが、”I like American”という人もいて、以外でした。今はアメリカが世界の中心という認識が強く、ビジネスを進めて繁栄したいという思いの方が強く感じられました。小さい子ども達は英語を上手に話しています。

KT: ベトナムへ旅行に行ったことがあり、今日参加したいと思って来ました。

SF: パンタロンを見ましたか？フランスと中国の文化の融合したものとして、アオザイとパンタロンが着られるようになったと聞いています。

MS: 私も行った時はいてみましたが、細くてはけませんでした。

竹内: 私は、食べ物がどのようなものがあるかを知ることがとても重要でした。

KT: 私は、行ったときに、サッカーがベトナムはとても強いのでマレーシアと闘って勝った時で、夜なか中、バイクに乗りながら祝っていて、洪水のようだったことを覚えています。

佃: 熱帯性気候なので、暑いのですが、エアコンがないと、外でバイクに乗って一晩中遊んで涼んでいるようですね。

KT: もう少し前から、空気が悪くなってきていて、マスク姿がたくさん見られました。

SF: 服の色はどうでしたか？

竹内: サーカスみたいにいるいました。日本の中古のバイクも多かったです。

## 1月号

SK: 事故はどうですかね。

竹内: あると思いますね

KT: ガイドさんが言っていたのですが、日本の車やバイクが中古品でも一番いいそうです。

SM: 東南アジアなので、米文化かと思っていたら、フランスパンを売っている写真を見てパン文化なのかと驚いたのですが、日本人も若い人はパンをよく食べますよね。

竹内: 3毛作で収穫できるようです。

佃: フランスパンも米から作るのでしょうか？それとも米から？パン屋さんは、多いのでしょうか？

竹内: 細かいことはまだわかりませんが、フォーも米から作りますね。米はベトナム語で COM だったと思います。

MF: 衛生面はどうですか？

竹内: ベトナムで、大阪から来て 30 年経つという人に会いましたが、下水が今も、一体どこに流れているかがわからないし、処理場があるのかもわからないそうです。でも、ホテルはきれいでした。

TK: ホーチミン市はとても美しい街です。

MS: ホームレスも多いのでしょうか？

SK: 全員が義務教育を受けているわけではないのですね。

竹内: 靴磨きを子どもがしていたけど、トライはしていませんでしたね。

KT: 大人もやっています。子どもだけではないですね。全体に貧乏に見えましたね。

佃: 大人は皆、携帯を持っているようですね。その貧しく見えるのと、高い携帯を持つこととのギャップはどうなのでしょう？

竹内: ぼくも、携帯をあんなに持っているとは思わなかったです。インターネットが入って来て世界とつながり、すぐワープしたような感じでした。日本みたいなカラオケ屋がはやっていました。

MF: カラオケってベトナム語でもカラオケ？

竹内: それもありました。

ザ行ができないのか、「アーユー ザパニーズ？」なんて聞かれました。

MF: 英語が話せたら、もっとフレンドリーになれそうと思いましたか？

竹内: そうです。その他で困ったのは、水に当たったことです。飲み物に氷をぼんやりして入れてもらって、その氷の水に当たったのです。旅行保険も掛けていたので、ハノイの病院へ行きました。医者はアメリカ人で看護師さんは、ベトナム人でした。通訳が入って僕の日本語をベトナム語に直し、そのベトナム語を別の通訳が英語に直し、大変でした。

佃: 昔、日本にオランダ人が先に多く住んでいたために、オランダ語が盛んになり、日本人でオランダ語の通訳になる人達がありましたね。すると、アメリカ人などが来る時代になって、英語をオランダ語に直す外国人通訳がいて、そのオランダ語を日本人の通訳が、オランダ語から日本語に直していたと聞いたことがあります。

MF: 抗生物質は持って行かなかったのですか？

竹内: 持っていなかったですね。誰かにポカリスウェットが効くと聞いて探したのですが、スーパーに無くて、ドラッグストアにしかないと言われました。

MF: 催涙弾にもポカリが効くらしいですね。

SK: 体力が消耗すると聞いたことがあります。

竹内: ここに残っているベトナムのバススケジュール表がありました。英語とベトナム語で書いてあります。日本円との比較は、

$40,000 \text{ ベトナムドン} = 40000 \div 100 \div 2 = 200 \text{ 円}$

日本円の 1 万円を両替すると、2,000,000 ベトナムドンとなり、札束の山でした。

MF: ベトナムコーヒーはどうでしたか？



## 1月号

竹内:人々は常に飲んでいて、街中にコーヒーショップがたくさんあります。外で飲んでいるようです。日本では、砂糖とミルクが両方付いてきますが、ベトナムでは、砂糖は出されません。コンデンスミルクが出て来て、「なんで日本では別々にいれるの？」と聞かれました。一杯50円くらいでした。

旅行の話を知りたいといろいろな質問が出ました。彼がどのようにして、ゲストスピーカーになるほど英語を学習したのかと聞く質問はまだ出ませんでした。次回は是非、聞いてみたいですね。

Hello, everyone!!

Thanks for giving me a chance of talking about my essay titled, "Impressions of My First Visiting Vietnam."

The following is a just summary of it;

We, my wife and I, went to Vietnam for a month

.Many things surprised us when we first stepped into this busy city, Hochimin. There were thousands of motorbikes on the main roads. Not only overwhelming of numbers of motorcycles but also the style of drivers were so unique..

Every thing was going well with us because daily goods price is 1/4.comparison to Japan.which means,for instance,one day sightseeing on taxi will be 2000 yen and eating at high class French restaurant of full course will be 3000 yen per two.

All foods are deliciousness and good taste.mainly they eat so called pho,something like noodles and the ones wrapped up fresh vegetables or shrimp with rice papers were so good.

Speaking of the Vietnamese character, they are so cheerful and open,they tended to sell aggressively something but the most of time, they were very pleasant friendly people.

I heard often that Japanese older travelers during on our way said Vietnam atmosphere reminded us of the old age of our life. That means Japanese also used to live three generations together. Exactly, at the present, Vietnam people now live like that.

As a conclusion, I found there were something to learn from them and we should put our good points on the table and share with them. We must lot more interact and ex

## 1月号

change precious ideas each other. Both cultures are very unique and exquisite.

Again this is a brief outline of my speech so I will add it more in detail, jokes and funny experiences, so please enjoy hearing my story !! Thank you and I look forward to seeing you all, then.

Good by for now.

Hiroshi Takeuchi



Office Com Junto 児嶋きよみ  
〒621-0815 亀岡市古世町1丁目2 - 4 1

1月のGlobalSessionの予定

1月25日(土) 10:30 ~ 12:00

場所: ガレリア亀岡3階 会議室

参加費: 600円

ゲストスピーカー: 菊地サリーナさん(マレーシア出身)

Coordinator: 募集中



## 1月号

### 「ハバネロメルマガ会員」ご参加お勧めください。

ハバネロに関心を持たれておられる方がお近くにおられましたら是非お誘いください。

申込みは簡単で、ホームページより申込みに必要事項をご記入頂き、事務局へお送りしていただけるだけで登録完了です。また、いつでも退会出来ますのでお気軽にお申込みください。

メルマガ会員の方には特典も考えております。

[http://www.shinofarm.jp/habanero\\_tomonokai.htm](http://www.shinofarm.jp/habanero_tomonokai.htm)

事務局

### 会員の皆様の宣伝コーナー開設いたします。

ご自分の会社やお店の宣伝・自己紹介など、案内したい内容がありましたら投稿してください。

行政関係の方もどんどん投稿してください。

ハバネロ以外でも全く問題ありませんので、会報誌を活用していただけたら幸いです。

原稿の締め切りは、毎月5日までお送りいただけましたら幸いです。

当月の10日頃をめどに、会報誌に掲載して配信致します。

原稿の送り先は、事務局( [info@kyoto-habanero.com](mailto:info@kyoto-habanero.com) )宛にお願いいたします。

事務局

### 「ハバネロなんでも質問コーナー」開設中

事務局( [info@kyoto-habanero.com](mailto:info@kyoto-habanero.com) )宛にご質問いただければ、直接ご質問者にお答えすると共に、承諾いただいた内容は直近の号でも紹介したいと思います。 匿名希望の方は「匿名希望」と伝えてください。

事務局